

us あす
わたしたちが創る 未来のまち。

平成28年度
総括号

ASUMACHI TIMES

あすまちタイムズ

平成28年4月発行
郡山市政策開発課
あすまちチーム

（仮称）郡山市まちづくり基本指針

- 本市では、2018（平成30）年度から始まる「（仮称）郡山市まちづくり基本指針」を市民の皆さんとの協働により策定するため、アンケート調査やパブリックコメントのほか、分野別の市民会議や地区懇談会などをワークショップ形式で開催しています。
- 市民の皆さんの「想い」や「願い」を大切にしながら、参加者同士の対話の中から生まれる様々なご意見を反映させ、基本指針策定を進めています。今回は、平成28年度に取り組んできた内容についてご紹介します！

基本指針策定の「3つのポイント」

- 分かりやすく、使い勝手の良い指針
- 社会情勢の変化などを弾力的に反映
- 市民自らが地域の未来を創造



これまでの取り組み

H28年
10月
～
11月

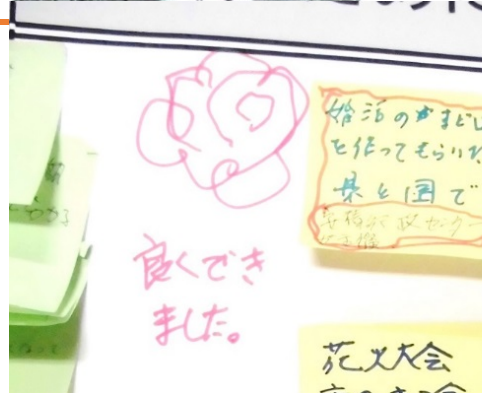
■あすまち会議こおりやま

- ・無作為抽出により市民3,000名から参加者を募集し、18歳～80代まで幅広い年齢層の方が参加
- ・5つの分野別ワークショップ実施し、「想い」や「願い」をあるべき将来像へつなげる
- ・まちづくりを「自分ごと」として小さなアクションを考える。

H29年
2月

■あすまちエリアディスカッション

- ・市内15地区で開催（ウェブテレビ会議システムで近隣3地区を結んで同時開催）
- ・小・中学生や高校生も将来の自分のまちについて考えました。
- ・地域の誇りを守り、未来へのよりよい変化を起こすために、誰が何をすべきなのかを話し合いました。



市民の皆様からいただいた、たくさんのご意見をもとに、29年度は本格的な指針策定を進めます！

① 分野別市民会議 「あすまち会議こおりやま」

■ 無作為に抽出された市民の皆さんに参加いただき、あるべき将来像を描きました。

- 【開催日】 ○キックオフミーティング : H28年10月2日
 ○第1回～5回会議 : H28年10月6日～10月30日
 ○ラップアップミーティング : H28年11月6日

【参加者数】 72人(延べ人数200人以上)

会議の流れ及び手法

1 公平な市民参加に配慮!

・無作為抽出で参加者を募集し、役割と責任のある立場で参加

2 分野別ワークショップで話し合い!

・興味関心のある分野に参加していただき、市民同士の対等で前向きな話し合い

3 マイ・プロジェクトで自分ごと化!

・それぞれの想いや願いを大事にしたあるべき社会を描き、担い手としての小さな一歩を提案

4 システム思考(ループ図)で納得!

・あるべき社会を実現するための取組を、関連性を整理しながら全員で納得

■ マイ・プロジェクト



- ①私の「想い」や「願い」の根っこをつかむ。
- ②私とつながった「社会」を描く。
- ③将来像を実現するための手段を考える。

■ ループ図



参加者全員で共有したメッセージ

「未来を知りたいれば、自ら未来を創ること」「まちづくりに正しい答えはない。楽しい答えを描こう」

○参加者1人ひとりの「想い」や「願い」に向き合いながら、生きいきとした「あるべきまちの姿」を描きました。
 ○また、すぐに取り組み始める小さなアクション「マイプロジェクト」をそれぞれが考え、まちづくりを「自分ごと」としてとらえました。

自分ごと「マイ・プロジェクト」

○あるべきまちの姿を実現するため、参加者1人ひとりが小さなアクションを考えました。
 「近所の人に積極的に挨拶し、顔と名前が一致するようにしたい!」
 「磐梯熱海温泉に入り、自分のお気に入りの温泉を見つける!」
 「公共施設を利用し、運営をサポートできる良き利用者になる!」

Asu Machi Kaigi Koriyama

市民が描いた「あるべきまちの姿」

1. 「産業・仕事の未来」

- ①産業や農業が盛んなまち
- ②楽しくてやりがいのある満足できる仕事のあるまち
- ③みんなが誇れる「郡山と言えよこれ!」というまち
- ④人が集まり声が聞こえる明るいまち

2. 「交流・観光の未来」

- ①全国に自慢できるまち
- ②たくさんの方が「また来たい」と思えるまち
- ③住んでみたいと思えるまち

3. 「学び育む子どもたちの未来」

- ①人と人がつながるまち
- ②笑顔があふれる夢のあるまち
- ③多くの子どもが輝く天才が生まれるまち
- ④誰も学びたいことを楽しく学べるまち

4. 「誰もが地域で輝く未来」

- ①活気があり楽しく元気なまち
- ②寂しい人がいない、一人ぼっちにならないまち
- ③好きなこと、得意なことが自由にできるまち
- ④みんなが健康で生きいきと暮らすまち
- ⑤女性が元気で輝くまち

5. 「暮らしやすいまちの未来」

- ①住んでよかったなと思えるまち
- ②安心して暮らせるまち
- ③思いやりがあり、誰にでも優しいまち
- ④どこにでも自由に行けるまち
- ⑤皆に自慢できる夢のあるまち



② 地区懇談会 「あすまちエリアディスカッション」

■ 各地区の皆さんに参加いただき、未来に残したい地域の誇りやより良い変化を起こすための取り組みについて話し合いました。

【参加者数】 341人(各地区の開催日と参加者数は以下のとおり)

	H29年2月7日	2月9日	2月10日	2月15日	2月16日
安積	22人	逢瀬 19人	富久山 30人	喜久田 28人	本庁 39人
田村	21人	三穂田 25人	日和田 11人	片平 12人	富田 21人
中田	11人	湖南 29人	西田 24人	熱海 25人	大槻 24人

よりよい未来へ向けた主な取り組み

各地域で次のような話し合いがされました。

クラブ活動の会場確保が困難 → 市と協力して空き家を改装し活用しよう!

町内会参加者が少なくなった → 住宅オーナー等と連携し個別に声をかけよう!

世代間交流がなくなってきた → 住民でまちづくり協議会を設立、若者参加を促そう!

ごみの出し方が課題 → みんなで「ごみ出しマスター」を育成しよう!

より良い未来の実現

○例えば、全市的な課題として子ども達の姿を地域で見かけることが少なくなったことや、隣近所との関係性が希薄化していること、それらに起因して伝統的な地域行事や町内会の事業への参加者が減少していることがあげられました。それに対して、参加者の皆さんから、様々な提案がされました。
 ○また、个性的で魅力的な地域資源に市民の皆さんが強い愛着を感じており、子どもや孫の世代に残していきたいと強く願っていることを再認識しました。

Asu Machi Area Discussion

市民が感じる地域の誇りマップ

共に創ろう！ あすのこおりやま

平成28年度の取り組みを総括して

平成28年度は多くの市民の皆様が「自分ごと」として施策分野や地域の未来について話し合っただき、私達スタッフや参加者の皆さんにもたくさんの気づきがありました。

平成29年度は、庁内策定体制を本格的に立ち上げるほか、第2回目の「あすまち会議」を開催し、目指すまちの姿をより具体的に描き、基本指針の具体的構成や市民の皆さんにとって分かりやすい内容やデザインなどについて話し合っていく予定です。

あすまち会議こおりやま参加者の声

それぞれの想いや意見はバラバラでも、最後にはみんなつながることがすごかった(^_^)！

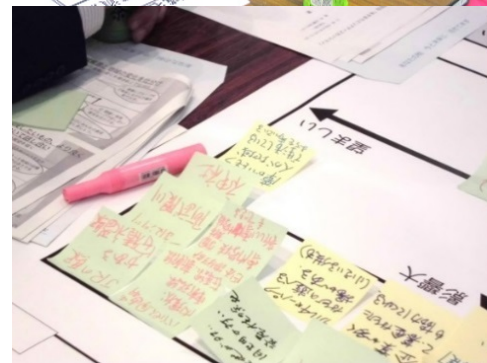
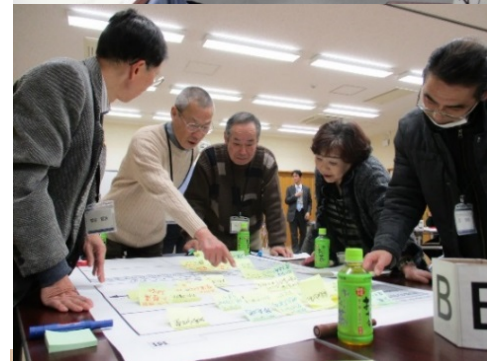
まずは自分が行動する！ そうすれば周りが変わる(^_^)

参加してよかった！と満足できる会議だった。色々な年代の人達の思いがけない意見に気付くことができた！

参加者の笑顔(^・^)がすごく多い会議だった！

ポジティブに考えることの大事さが分かった。
きっと明るい未来がやってくる！

一見突拍子もないような意見でも、実際に実現可能では？と納得できる会議。目からうろこだった。



・・・そして次のステップへ！

H29年5月頃	庁内策定委員会の立ち上げ
H29年7月頃	第五次総合計画の評価と検証 第2回あすまち会議こおりやま
H29年9月頃	審議会
H29年12月頃	指針策定

市民の皆様のご参加をお待ちしています！
■ 詳細は、広報こおりやま5月号で！ ■

あすまちタイムズ 平成28年度総括号 平成29年3月発行
発行：郡山市役所 編集：政策開発課あすまちチーム

✉ 電子メール：seisakusuisin@city.koriyama.fukushima.jp

☎ 電話：024-924-2021（直通）

📠 ファックス：024-924-2822